

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 議会の日程

・16日、議会は、会期の終了を宣言。次回会期は9月5日に開会の予定。

#### 憲法78条改正のための国民投票

・13日、中央選挙管理委員会は、9月5日に行われる憲法78条改正のための国民投票の投票運動に参加する政党は、8月4日までに憲法78条改正への賛否を明らかにした上で同委員会に登録する必要があると発表(最大30党まで登録可能)。また、同委員会は、同国民投票に参加可能な有権者数を8月5日に発表することを公表。

・13日、共産党は、同国民投票のボイコットを決定、同党の支持者に対しボイコットに同調するよう呼びかけ。

・14日、ヴォローニン前大統領は、ミジェイEU代表部特別代表との会談において、同国民投票の実施は与党が政権に留まるための政治的な策略であるとAEIを非難。

・16日、中央選挙管理委員会は、同日までに9党が同国民投票の投票運動への参加登録を申請したと発表。そのうち、AEI各党を含む5党は憲法78条改正に賛成、共産党を含む2党は同改正に反対を表明。

#### 「ソ連占領記念日」制定の違憲判決

・12日、憲法裁判所は、ギンプ大統領代行による6月28日の「ソ連占領記念日」制定は違憲であるとし、同記念日の制定は無効と判決。これに対し、ギンプ大統領代行は、同判決の根拠を示すよう憲法裁判所に要求すると発言。

・13日、ツルカン「統一モルドバ」党首は、同判決を支持し、ギンプ大統領代行の罷免の手続きを開始する意向を表明。

・13日、同判決に反対する活動家が、憲法裁判所の周囲で抗議活動を実施。

#### 洪水被害

・13日、ブルト川の水位が再度上昇。政府は、被災者に対し食料援助、一人あたり500レイの財政援助を実施。

・14日、フィラト首相は、被災者のための家屋建設のためには計4億レイが必要であると発表。地方発展建設省は、被災者のために約700戸の家屋を建設する計画と発表。

・15日、政府は、フィラト首相を委員長とする洪水被害対策委員会を設立。同日現在の被害状況は、死者2名、行方不明者1名、避難中の被災者約3,000名、約850の家屋及び約6,000ヘクタールの農地が浸水。政府は、軍隊等より約2,500名を動員し救助活動を実施。他国・国際機関に援助を要請。

・15日、沿ドニエストル「警察」は、ドニエストル川の水位の

上昇に伴い、43世帯100人以上の住民を避難。

・16日、ネグルツァ財務相は、洪水被害対策への追加支出のため、2010年予算案の更なる修正が必要になるかもしれないと発言。

### 2. 沿ドニエストル

#### ▼主な動き

・10日、OSCE 議員会議は、露平和維持軍の沿ドニエストルからの撤退及び「5+2」者協議再開を呼びかけるモルドバの提案を支持。

・13日、ドン・モルドバ共産党議員(元第一副首相兼経済相)とオシポフ・モルドバ沿ドニエストル問題担当副首相は、テレビの討論番組において沿ドニエストル問題に対する互いの政策を非難。

・15日、カミンスキー沿ドニエストル「最高会議議長」は、9月にモルドバで予定される国民投票に関し、沿ドニエストル内で投票所を開設する予定はなく、これは沿ドニエストルが明確な独立路線を採択しているためと発言。

・15日、ヤストレブチャーク沿ドニエストル「外相」は、沿ドニエストル国家が世界で承認されることを外政の最優先課題としていると発言。沿ドニエストル問題早期解決の可能性を否定した上で、ウクライナは「5+2」者フォーマットのみにとらわれず、保障国としての力をより積極的に用いるべきと発言。

### 3. 経済

・15日、対モルドバ欧州開発投資基金(EDIFM)は、モルドバにおける事業開始を宣言。支援は、国家利益につながる民間部門のプロジェクトを対象にローン供与を行うもの。

### 4. 外政

#### ▼主な動き

・16日、フィラト首相は、ハーン欧州委員会地域政策担当委員と会談。「東方パートナーシップ」の一環としてモルドバ・EU間の地域政策に関する政治対話につき協議、地域政策分野の政治対話に関する合意文書に署名。

#### ▼その他

・10日、ギンプ大統領代行は、60歳の誕生日を迎えるヤヌコーヴィチ大統領に祝賀メッセージとプレゼントを贈り、内政の状況及び洪水に鑑み、CIS 非公式会合への不参加を伝達。

・12日、フィラト首相はマシモフ・カザフスタン首相と電話会談。マシモフ首相は、モルドバの洪水被害に対する支援の用意があることを伝達。

## B . その他の動き

---

7 / 12 (月)

・国防省は、ウクライナで実施される演習「シー・ブリーズ2010」に参謀本部6名及び第22平和維持大隊30名からなる派

遣部隊が参加すると発表。モルドバ軍がシー・ブリーズに参加するのは今回が初めて。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。  
(了)